

ラジコン草刈機

AP-RM520



取扱説明書

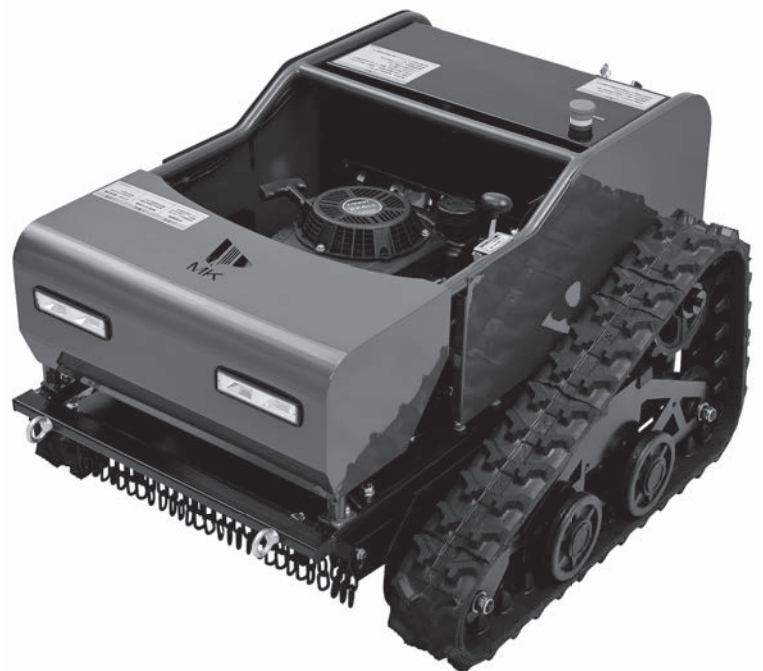
お買い上げまことにありがとうございます。

この取扱説明書を必ずお読みのうえ正しくお使いください。

お読みになった後はお使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

も く じ

安全のために必ずお守りください	1～6
各部のなまえとはたらき	7～10
危険・警告・注意ラベルについて	11
付属品	12
作業前の点検・準備	13～15
・作業前点検	13
・燃料の点検・給油	14
・本体の充電	15
・送信機（プロポ）の電池交換	15
運転・作業・走行のしかた	16～19
・上手な作業のしかた	16
・始動のしかた	17～18
・停止のしかた	18
・刈高調整のしかた	18
・走行のしかた	19
・斜面での作業のしかた	19
エンジンのメンテナンス	20～22
・部品の説明	20
・オイル交換のしかた	21
・エアクリーナーの清掃のしかた	21
・スパークプラグの交換	22
刈刃の交換のしかた	23
クローラの点検・調整のしかた	24
発電機ベルト点検・調整のしかた	25
・点検のしかた	25
・調整のしかた	25
修理を依頼される前に	26
定期点検一覧	27
仕様	28
消耗品について	29
アフターサービスについて	30
廃棄物の処理について	30
保証書	裏表紙



安全のために必ずお守りください


製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための重要事項を危険・警告・注意に分けて示しています。必ずお守りください。


⚠危険 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う危険が差し迫っていることを表しています。

⚠警告 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意 取り扱いを誤ると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

お守りいただく内容を次の絵表示で区別しています。

 してはいけないこと（禁止）を示します。

 必ずすること（強制）を示します。

- 本製品をご使用いただく前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、内容を理解してからお使いください。
- 内容にご不明な点がある場合には操作はせず、お買い求めの販売店までご相談ください。
- 本製品を譲渡する時はこの取扱説明書を本製品と共にお渡しください。
- 本製品は日本国内でのご使用を想定しています。
海外への輸出や海外での使用は想定しておりませんので保証およびサービスの適用範囲外となります。
- 本製品は公道での走行はできません。
ほ場まで移動される場合はトラックなどにのせて運搬してください。
- 本製品は農業従事者向け専用の機械として開発されており、これ以外の用途では使用しないでください。保証の対象外となる場合があります。
- 地を這うように伸びるツタ、ツル等の草については刈取れない場合もあります。
- 送信機にある技適マークステッカーをはがさないでください。
技適マークが付いてない無線機を使用すると電波法違反になる場合があります。
- 本製品は改良のため部品等の変更をすることがあり、お手元の製品仕様と本書の内容が一部一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- はじめて本機を使用するときは石等の異物のない平坦地で操作方法等を十分に習得してください。
- 傾斜地での草刈は、平坦地で十分に練習した後に行ってください。

作業条件

⚠ 警告



禁止

- 過労、病気、薬物、その他の影響により正常な運転操作が出来ない時には作業しない。
- 酒気を帯びた人、妊婦、子ども(中学生以下)、未熟練者にも作業をさせない。
- 機械の回転部に巻き込まれたりしないよう、作業衣は長袖の上着に裾を絞った長ズボン等、適切な服装で行う。くわえタバコ、巻き(腰)タオルをして作業しない。
- 安全靴(長靴)やヘルメット(帽子)、防護眼鏡、手袋、スネ当て等の適切な装備を使用する。

作業前の注意事項

⚠ 警告



禁止

- 屋内など換気が不十分な場所では、運転や作業はしない。
排気ガスにより一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 本機の改造は絶対にしない。
(改造に起因する事故および不具合に関しては一切の責任を負いかねます。)
- 可燃性物質や火の近くで使用しない。
- 視野が悪い時は使用しない。



必ず実施

- 周囲の安全を確認してから作業を行う。
- 石やその他の異物は事前に取り除き、作業を進める。
- 岩や金属など、刃の接触により火花が出るようなものは事前に取り除く。
本機装着の前後部の鎖や側面部のカバー類は、刈取部からの異物の飛散を最小限に抑える様に設計されていますが、これを完全に防止するものではありません。作業前のは場内異物(石、切株、針金、空缶、捧切れ)等の除去は、作業者の責任で確実に実施してください。

⚠ 注意



禁止

- 雨天時や水たまり等、大量の水を浴びるような条件での使用は避ける。
製品をコントロールできなくなることがあります。
- 無線機等の電気製品、高圧線や変電所等大きな電磁場の近くでの作業はしない。
機器の故障や作業に影響をきたすおそれがあります。



必ず実施

- 気象条件等に留意し、作業実施の判断や装備の選択に十分配慮する。
- 複数台所有する場合は、本機と送信機(プロポ)の組み合わせが入れ替わらないように保管する。
万一、送信機を破損した場合には、速やかにご購入の販売店へご相談ください。

安全のために必ずお守りください

作業前の点検・確認

⚠ 警告



必ず実施

- 刈刃のボルト・ナットをしっかり締める。また、古いものは新しいものに取り換える。
- エンジンのリコイルスターター部の冷却風吸込口、特に高温となる排気マフラー周辺や本機に堆積した草屑等は作業前に必ず取り除く。
エンジンの焼付きや火災の原因となります。
- 本機のエンジンを始動後、必ずエンジンスイッチを「OFF」位置にして、エンジンが停止することを確認する。
エンジンが停止しない場合は使用を中止し、ご購入の販売店に修理の依頼をしてください。
- 送信機のスイッチ類の作動を確認する。
走行レバーやスイッチ類の戻りが無い場合は使用を中止し、ご購入の販売店に修理の依頼をしてください。
- 電装ボックス内の配線の外れ、被覆の剥がれがないか確認する。
配線に異常がある場合は使用を中止し、ご購入の販売店に修理の依頼をしてください。
- 電装ボックス内を毎回点検・清掃する。また電装ボックス周辺に水をかけない。
高圧洗浄機は使用しない。
感電・ショート・故障の原因になります。

⚠ 注意



必ず実施

- 本機は必ず使用前に充電を行い、バッテリー容量が十分にあることを確認する。
- 送信機は必ず使用前にバッテリー容量を確認する。
作業時間によりバッテリー不足が懸念される場合には予備の電池を用意しておくことをおすすめします。 [単3アルカリ電池を4本使用]

火気厳禁・燃料の給油

⚠ 危険



禁止

- 作業中及び給油中に限らず機械の周辺に火気を近づけない。
くわえタバコ、焚き火、裸火の使用等は、機械のそばで絶対行わない。
引火や火傷の危険があります。
- 身体に静電気が帯電した状態では行わない。
気化したガソリンにより引火の可能性があります、火傷・火災につながるおそれがあります。



必ず実施

- 給油はエンジン停止、電源を切った後、排気マフラーの温度が十分下がってから行う。

作業中の注意事項

⚠ 警告



禁止

- 安全のため、余裕を持った運転を心掛け、急発進・急停止・急旋回はしない。
- 操作時は本機の前後に自身も含め人が立たないようにする。
- 刈刃部に手や足を入れない
- 作業中は人や動物を近づけない
- 無理な姿勢で作業を行わず、体調に合わせ1～2時間程度で休息を取るようになる。
- 運転中、周囲に燃えやすい物や危険物を置かない。
排気マフラーは高温となります。本機操作時・作業終了直後等に手をかけると、火傷を負うおそれがあります。
- 凹凸のある路面の傾斜地では使用しない。
作業は山側から操作し、上下方向ではなく横方向（等高線方向）に行うようにしてください。上下方向の作業は、本機が転倒するおそれがあります。
- 滑り止めなどの注意を十分行い、滑りやすい場所では作業を行わない。
- 人や物をのせて運転しない。



必ず実施

- 本機から離れるときは必ず電源・エンジン停止し、送信機を持って離れる。
また、送信機の電源を入れたまま放置しない。
- 斜面での作業は、勾配45°以下（前進で垂直登り30°以下）で使用する。

操作上の注意事項

⚠ 警告



禁止

- 斜面での旋回操作は行わない。
バランスを崩し、転倒してけがをするおそれがあります。
- 斜面では安全のため、不要な操作は行わない。
スリップ・転落・滑落等の危険があります。



必ず実施

- 操作時は、人・子ども・動物・障害物がない事を確認し、機械との間に挟まれたり、崖や段差からの転落等がない様足場に注意する。
- 木の周りや壁際などの作業時は、ハウスの支柱や木の枝、鉄線等と本機との間に身体や手を挟んだり、枝での打撲・挟まれに十分注意して作業を行う。
- 旋回時は特に足元に注意し、刈刃やクローラーに巻き込まれないようにする。

安全のために必ずお守りください

作業中の点検・停止

警告



必ず実施

- 作業中に点検する際は、必ずエンジン・電源を停止し、各部が冷えてから行い、手を保護するために皮手袋などの丈夫な手袋をする。
- 本機より離れる時は、必ずエンジン・電源を停止して送信機を持って離れる。また、安定した平坦地で確実に停車する。
- 運転中の異常な音、匂い、発熱は火災の原因となるおそれがある為、直ちにエンジン・電源を停止し、点検・修理する。
- その他作業中、異常を感じたら必ずエンジン・電源を停止してから、点検を行う。オイル量が多く、急な傾斜地を走行する際に白煙をふく場合があります。その際はオイル量が適正な量であるか確認してください。

注意



必ず実施

- 作業中、異物と衝突（噛み込み）した時は直ちに作業を止め、エンジン・電源を停止する。必ず刈刃及びカバー類の欠けや曲がりの有無を調べ、必要に応じ修正・交換してください。

積み降ろし及び運搬時の注意

⚠ 危険



必ず実施

- ワゴン車などの密閉空間になる状態で車体を運搬する場合は、燃料タンク内の燃料を抜き取ってから積み込む。
燃料が気化し室内にガソリン臭が充満したり、燃料漏れが発生して火災が起こるおそれがあります。

⚠ 警告



禁止

- 本機を運搬、積み降ろしする時は必ずエンジンを停止する。
ブリッジ、荷台に動いてる刈刃が当たるなどのおそれがあります。
- 積み降ろし時にブリッジの下に入らない。ブリッジの間に立ち入らない。
ブリッジが外れた際に大きなけがにつながるおそれがあります。



必ず実施

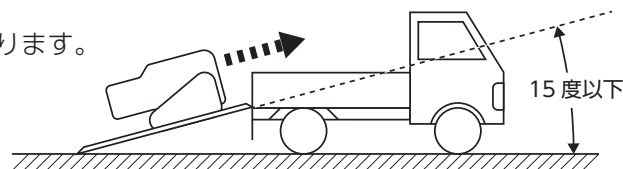
- 運搬用の車は製品に応じた車を使用する。(積載重量、荷台のサイズ、干渉の有無)
- 運搬用の車は平坦で安全な場所を選び、搭載時に動き出さない様にエンジンを止め、サイドブレーキを引き、車輪止めをする。
- 運搬時は丈夫なロープで確実に固定する。
- 積み降ろし作業中は機械の前には絶対に立たない。

⚠ 注意



必ず実施

- 基準にあった丈夫なブリッジをゆるい勾配(15度以下)で確実にかけ、積み込みは後進方向から低速でゆっくり行う。
積み込みは後進方向からだと安定しやすくなります。
- 本機がブリッジとトラックの荷台との境を越える時は、急に重心の位置が変わるので、十分に注意する。
- 車体のクローラーがブリッジの中央を通るようにする。



<ブリッジの基準>

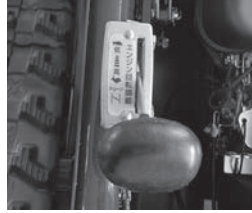
- ・長さ・・・車の荷台の高さの4倍以上
- ・幅・・・180mm以上(クローラ幅の1.5倍以上)
- ・強度・・・積載重量 200kg以上(1枚あたり)
- ・形状・・・すべり止めのあるものや、はしご状のもので先端にフックがついているもの

各部のなまえとはたらき

本機

スロットルレバー

始動時のチョークおよびエンジン回転数の増減を調整します。



昇降モーター

電装ボックス

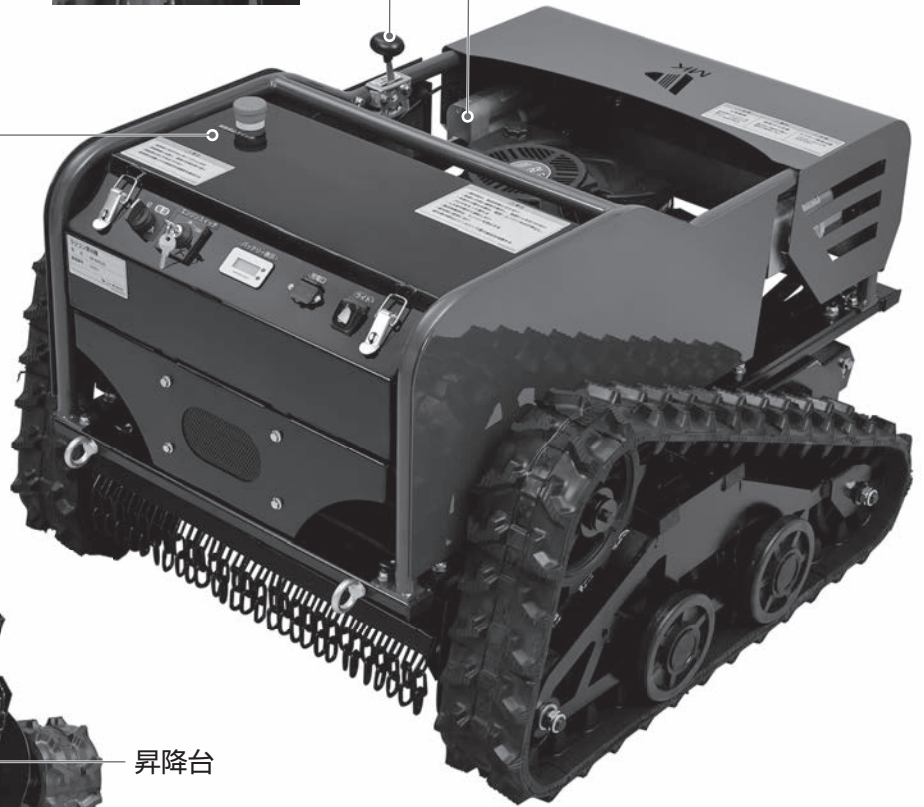
バッテリーや受信機などの電装部品が入っています。

⚠ 警告



禁止

本体の分解・改造をしない。
分解・改造した場合は、保証・
修理ができなくなります。



昇降台

刈刃



リコイルスターター

緊急停止ボタン

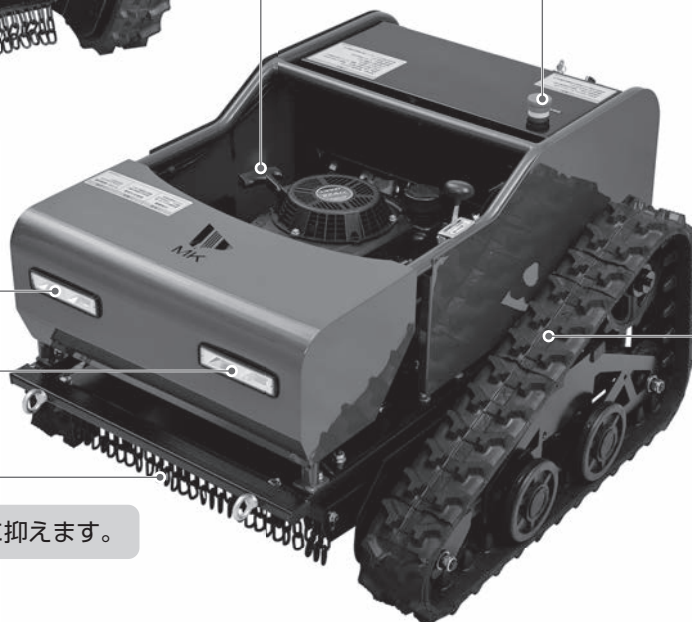
非常時にこのボタンを押すと走行およびエンジンが停止します。戻すときは先端の赤い部分を時計回りに回して戻してください。

ライト

クローラー

飛散防止クサリ

石等異物の飛散を最小限に抑えます。



メイン電源（ブレーカー）

作業をしないときは切ってください。

受信器

バッテリー

本機用のバッテリーです。エンジン始動せずに走行可能ですが、エンジン未起動時では短時間でバッテリー切れを起こすおそれがあるため、草刈時はエンジンを始動させて使用してください。

不要バッテリーの廃棄については、それぞれの自治体の取決めに従ってください。又はお買い上げの販売店にご相談ください。
*バッテリーのリサイクルにご協力ください。

電装ボックス内部

充電口 ライトスイッチ

バッテリー表示

本体のバッテリー残量を表示します。

電源スイッチ

使用時は「入」にし、作業をしないときは「切」に合わせてください。

エンジンスイッチ

エンジンをかける時はONにしてください。STARTへ回すとエンジンをかけることができます。エンジンを停止させるときはOFFにしてください。OFFの時はカギを抜くことができます。

各部のなまえとはたらき

送信機 (プロポ)

⚠ 警告



送信機の分解・改造をしない。
誤動作や故障の原因になります。

禁止

エンジン始動・停止スイッチ

本機のエンジンの始動と停止を行います。

始動：エンジン停止時に「始動」側へ5秒ほどたおす。

停止：エンジン運転時に「停止」側へ5秒ほどたおす。

ストラップ取付用フック

付属の送信機ストラップを引っ掛けて
ご使用できます。

アンテナ (内蔵)

刈高調整スイッチ

スイッチを低・高にたおすと刈刃全体
が昇降して刈高の調整ができます。

走行レバー (前後用)

本機の前進と後進を行います (たおす
量で速度の調整ができます)。

前：本機が前進します。

後：本機が後進します。

レバーを離すと停止します。

使用しない

使用しない

点線部のスイッチは使用しません

これらは本機の操作に関係ありません
ので操作を行わないでください。設定
を変えてしまうと状況によっては本機
を操作できなくなるおそれがあります。

モニター

バッテリー残量

送信機のバッテリー残量を確認
できます。

電源スイッチ

送信機の電源です。長押しして、電源の
スイッチを入れます。作業をしないとき
は常に切ってください。電源を切る時も
長押ししてください。



速度切替スイッチ

本機の走行速度を変更します。

速：平坦な場所など、安全に作業できるときに用いる。

遅：初めてお使いになるときや、斜面での作業は安全のため「遅」を用いる。



このスイッチは使用しません

技適マークステッカー



走行レバー（左旋回、右旋回用）

本機の進行方向の変更を行います（たおす量で舵取り量の調整ができます）。

右：本機が右向きに動きます。

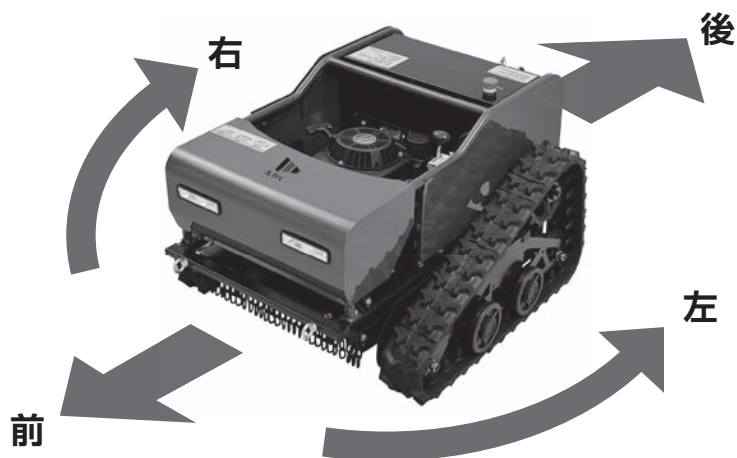
左：本機が左向きに動きます。

走行レバー（前後用）を離してこちらを操作すると、本機が旋回します。

方向について

本機の前後左右は、下図のように作業員から見た方向で表します。

本文中の、「前進」・「後進」についても、作業員から見た方向で表します。



危険・警告・注意ラベルについて

⚠ 警告

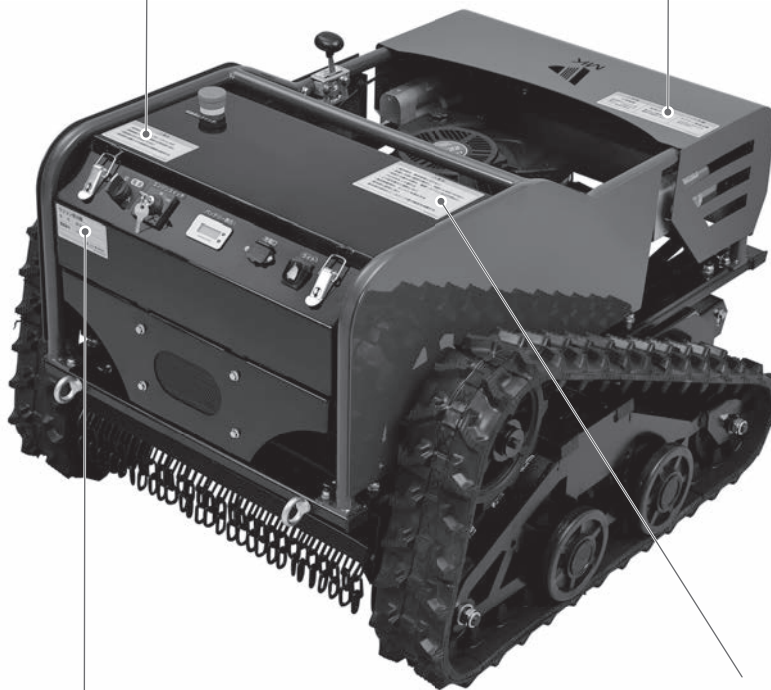
- 警告表示マークは本項目内における重要危険事項の中からとくに重要なものとして厳選され、本体に貼付されています。ご使用前に必ずお読み頂き、十分理解して必ず守ってください。
- ※ 警告表示マークが見えにくくなった場合には、必ず同じものを販売店で購入、貼り換える等して常にはっきり識別できるようにしてください。

草刈警告銘板 AP-AA061Z000


⚠ 警告
<ul style="list-style-type: none"> ・使用前に刈刃のねじをしっかりとめる ・異物飛散に注意し、周囲の石等を取り除く ・回転時は刃に手を近づけない ・使用時は保護メガネ等適切な保護具を着用する ・使用前に鎖の欠損がないことを確認する
AP-AA061Z000

エンジン警告銘板 AP-AA063Z000

⚠ 危険	⚠ 警告	⚠ 注意
火気厳禁 給油時はエンジンを停止し、こぼれたガソリンを拭き取る	排気ガス注意 室内など換気の悪い場所で使用しない	マフラー高温注意 さわるとやけどのおそれあり
AP-AA063Z000		



製造銘板 AP-AA060Z000

ラジコン草刈機
型 式 : AP-RM520
製造番号 :
 エムケー精工株式会社 AP-AA060Z000

本体警告銘板 AP-AA062Z000

⚠ 警告
<ul style="list-style-type: none"> ・操作時は、製品の前後に立たない ・見通しの良い環境で操作し、周囲に人を近づけない ・本体から離れる際は、電源・エンジンを必ず停止し、プロポをもって離れる ・人や物を載せて運転しない ・製品移動時は、エンジンを停止する ・雨天時に使用しない ・急な雨の時はビニールシート等で製品を保護する
AP-AA062Z000

付属品

<p>エアクリナー（交換用）×1</p> 	<p>送信機ストラップ×1</p> 
<p>替刃（交換用）×1組（2枚）</p> 	<p>オイル交換用手動ポンプ×1</p> 
<p>プラグレンチ</p> 	<p>ろうと（赤）：オイル用</p> 
<p>ACアダプタ</p> 	<p>ろうと（黒）：ガソリン用</p> 
<p>替刃ナット（交換用）×1組（2個）</p> 	<p>取扱説明書（本書）×1、保証書（取扱説明書内）</p> 

作業前の点検・準備

作業前の点検

安全で快適な作業を行うために作業前点検を行い、異常箇所は必ず整備をした後に作業を始めてください。不明な点や異常があれば、必ずお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

	点検箇所	点検内容
エンジン	エアクリーナー	フィルターの汚れ、詰まりがないか
	オイル	オイル量、汚れの確認
	エンジン	ボルトのゆるみ、がたつきはないか
	燃料タンク、燃料ホース	燃料の漏れがないか
	エンジン、マフラー周辺	草やごみがたまっていないか
	リコイル部	枯草、ほこりが詰まっていないか
本体	飛散防止くさり	<ul style="list-style-type: none"> ・割れ、亀裂はないか ・ボルト、ナットのゆるみがないか ・スムーズに動くか ・周辺のごみ、草などの異物を取り除く
	刈刃および刈刃周辺部	
	発電機ベルト	
	クローラー	
	スロットルレバー	
	昇降台	
	送信機	破損、スティックまたはスイッチの折れがないか
動作時	エンジンスイッチ	OFF に回してエンジンが停止するか
	送信機 エンジン停止レバー	エンジンが停止するか
	非常停止ボタン	走行、エンジンが停止するか
	エンジン、マフラー	<ul style="list-style-type: none"> ・異音はしないか。 ・排気ガスの色に異常は無い

⚠ 警告



必ず実施

- 点検、給油、調整、整備は必ず電源・エンジンを停止してから行う。
(動作時の点検を除く)
- 本機に貼られている警告表示マークの項目を確認をする。

燃料の点検・給油

<燃料>

①燃料はレギュラーガソリンを使用してください。

燃料タンク容量：1.4L

②燃料タンクキャップはカチッと音がするまで締めてください。

<オイル>

①使用するオイルは必ず4ストロークエンジンオイルAPI規格SE級以上10W-30を使用してください。

オイル容量：0.5L

②レベルゲージにてオイル量が適正值にあることを確認してください。（P.21参照）

⚠危険



禁止

- 作業中及び給油中に限らず機械の周辺は火気を近づけない。
引火や火傷の危険があります。くわえタバコ、焚き火等、裸火の使用等は、
機械のそばで絶対に行わないでください。
- 身体に静電気が帯電した状態では行わない。
気化したガソリンにより引火の可能性があり、火傷、火災につながるおそれがあります。



必ず実施

- 給油はエンジン停止後、マフラーの温度が十分下がってから行う。
火災につながるおそれがあります。

⚠注意



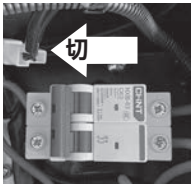
必ず実施

- 燃料を補給する場合は、ほこり・草・雨・などの異物が燃料タンク内に入らないようにする。
エンジン不調の原因になることがあります。
- 燃料は自然劣化します。1ヶ月以上使用しない場合は新しい燃料と入れ替える。
不調の原因となる場合があります。
- 燃料補給後は燃料タンクキャップを確実に締め付ける。
ガソリン注入時は漏斗などを使用し、こぼれないようにしてください。
燃料タンクに燃料を入れすぎないようにしてください。
燃料の膨張を考慮して首部から2～3cm程度あけて給油してください。
- 平坦で安定した場所で行う。
燃料がこぼれるおそれがあります。

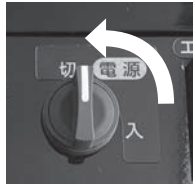
作業前の点検・準備

本体の充電

①



電源スイッチ



メイン電源（ブレーカー）

本体の電装ボックス内のメイン電源（ブレーカー）、電源スイッチを切ってください。

②



プラグを
しっかりと
差し込む

充電口の上ふたを開け、付属のACアダプタのプラグを差し込み、家庭用電源AC100Vに接続して充電してください。

- ・ACアダプタの通電ランプが赤色に光っている間は充電中です。
- ・ACアダプタの通電ランプが緑色に変わると充電完了ですのでプラグを引き抜き、コンセントから抜いてください。

[充電時間の目安：5～7時間]

③



本体のメイン電源（ブレーカー）、電源スイッチを入れ、モニター部分の表示が「100%」に近い数字になっていることを確認してください。

※コンセントから抜いた後にモニターを確認してください。

送信機（プロポ）の電池交換

お願い

作業前に必ず送信機の液晶画面に表示されるバッテリー残量を確認しご使用ください。バッテリー残量が4.5V程度まで低下するとアラーム音が鳴り、その際エンジンが停止します。レバーを動かすことで復帰し、再度エンジンを始動することはできますが、バッテリー残量が少ないため早めに作業を中断して本機を安全な場所に移動させて、電池交換をしてください。

ご使用後の電池の処分は、それぞれの自治体の取り決めに従ってください。

<送信機の電池交換>

①送信機の電源を切って、背面のフタをはずしてください。

②電池を取り出し、新しい電池に交換します。

単3 アルカリ電池 4本使用 ※電池には「 \oplus \ominus 」がありますので向きに注意してください。

③背面のフタを閉じてください。

※出荷時には電池は入っておりません。ご使用前に電池を入れてください。

⚠ 注意

- 電池のプラス、マイナスの極性を間違えると送信機が破損するおそれがあります。
- 古い電池と新しい電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 使用前に電池が液漏れしていないことを確認してください。

新しい電池を入れ替えてもバッテリー残量が回復しない、各種レバー、スイッチが反応しない等の異常があれば使用を中止し、販売店にご相談ください。

運転・作業・走行のしかた

上手な作業のしかた

⚠ 警告



禁止

- ほ場内の障害物、側溝、軟弱な路肩のあるところ、地面の凸凹等危険な場所にはあらかじめ目印を立てるなどして誤って接近しないようにする。
転倒やクローラーがはまり、自走できなくなる場合があります。
- 使用可能なほ場は平坦地及び45°(等高線)までの傾斜地です。いずれも凸凹の少ない整地されたほ場で使用し、それ以外では使用しない。
思わぬ事故の原因となります。ほ場の状態によっては45°(等高線)以下でも転倒することがありますので、十分注意して無理のない作業をしてください。
(前進の垂直登りは30°まで、等高線方向および、後進の垂直登りは45°まで)



必ず実施

- 刈刃にからみ付いた草や針金その他の異物を取り除く際には、必ず電源・エンジンを停止してから行う。
- 作業者は本機の周辺が見える範囲で操作し人を近づけない。また、20m以上離れない。
- 作業者は必ず本機の上(山)側の平坦地にて操作する。下(谷)側での操作は危険を伴います。また、下(谷)側に人や物がいないことを確認してください。
- 斜面走行時は本体前方右側のスリットが常に山側へ向くようにする。

⚠ 注意



必ず実施

- 作業衣は、長袖の上着に裾を絞った長ズボン等を着用し、スパイク靴や帽子またはヘルメット、すね当て、防護メガネ等を常に着用する。
- 刈取部全周にわたり、石等の異物が飛散するおそれがあります。あらかじめ異物は取り除き、人や車、建物から離れて十分ご注意の上作業してください。
- 本機運転中のエンジンのマフラー部は高温になり、誤って触ったりすると火傷の危険があります。
運転中及び運転停止後約1時間はマフラーには絶対に触らないでください。

お願い

初めて本機を使用するときは石等の異物のない平坦地で操作方法等を十分に習得してください。
刈取り跡が少し重複するようにして往復すると刈残しが無く、きれいに仕上がります。
傾斜地での草刈は、平坦地で十分に練習した後にしてください。

運転・作業・走行のしかた

始動のしかた

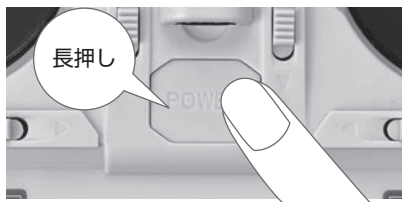
刈刃はエンジンと連動して回転します。草刈時は必ずエンジンを始動させてください。

①



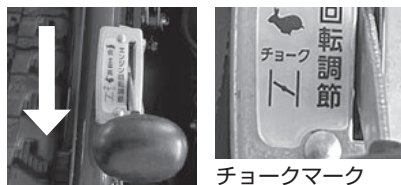
送信機の各種スイッチを初期位置にしてください。
(速度切替スイッチを「遅」位置)
その他スイッチ、レバーは中央 (ニュートラル) 位置

②



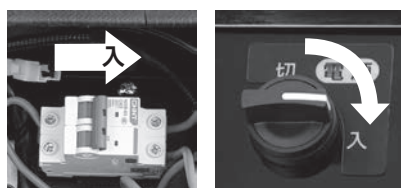
送信機の電源ボタンを長押しして電源を入れてください。

③



本体のスロットルレバーをチョークマークのある手前側にたおしてください。

④



本体のメイン電源 (ブレーカー) を入れ電源スイッチを「入」にしてください。
※緊急停止ボタンは赤い先端部を時計回りに回して上に上げておいてください。

⑤



エンジンスイッチをONにしてください。

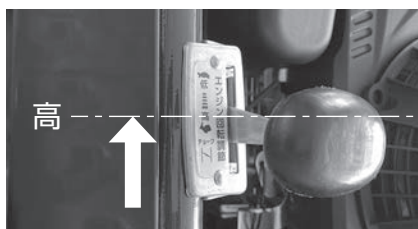
⑥



送信機のエンジン始動スイッチを 5 秒ほど始動側にたおしてください。エンジンスイッチをSTART側に回しても始動可能です。

本体のバッテリーが弱く、送信機のエンジン始動スイッチでエンジンが始動しない場合は、エンジンのリコイルスターターでも始動可能です。

⑦



エンジンが始動したらスロットルレバーを高のマークの位置に合わせてください

低にすると草刈りの負荷に耐えられずエンジンが停止することがあるので、草刈りを行うときは「高」に合わせてください。

⚠ 注意



禁止

- リコイルスターターのロープはいっぱい引き出さない。
- 引いたリコイルスターターの取っ手は急に手を離さずに静かに元に戻す。
- 新品で製品を購入後、最初の3～4時間程度は、慣らし運転期間として、過負荷をかけないように控えめな運転を心がける。
- 回転が安定しない、アイドリングが安定しない場合は販売店へご相談ください。

停止のしかた

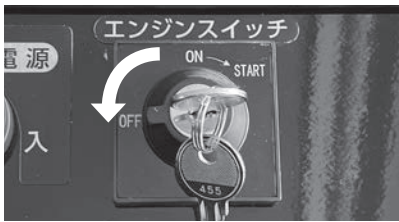
①



送信機の停止スイッチを、エンジンが停止するまで倒し続けてください。

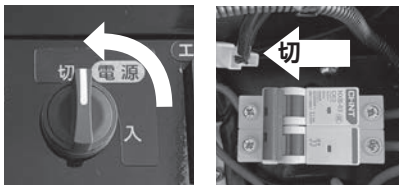
※②でも停止させることができます。

②



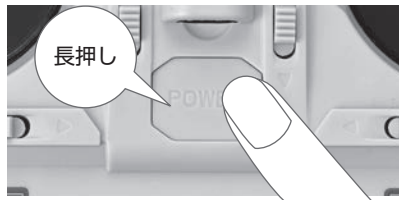
本体のエンジンスイッチをOFFにしてください。

③



モーター走行も行わない場合は、本体の電源スイッチを「切」にし、メイン電源（ブレーカー）を切ってください。

④



送信機の電源ボタンを長押しして送信機の電源を切ってください。

※緊急時に停止させる場合は、非常停止スイッチを押して停止させることが可能です。

刈高調整のしかた



- 刈高調整スイッチを倒すことで、刈高の調整ができます。

刈高を低くしたい：「低」

刈高を高くしたいとき：「高」

スイッチから手を離すと止まります。

最低高さ：約20mm

最高高さ：約150mm

運転・作業・走行のしかた

走行のしかた

①



前・後進する場合は送信機の走行レバー（前後用）を操作して、走行させてください。

速度はレバーを倒す量に応じて変わります。



速度切替スイッチで走行スピードを2段階に調整できます。

操作になれていないときや斜面での草刈時は速度を「遅」にして使用してください。

②



向きを変える場合は走行レバー（左右用）を操作してください。

旋回角度はレバーを倒す量に応じて変わります。

⚠ 警告

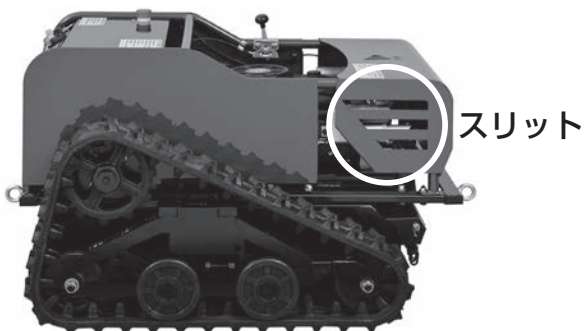


必ず実施

- P.4「操作上の注意事項」を確認のうえ、操作を行うこと。

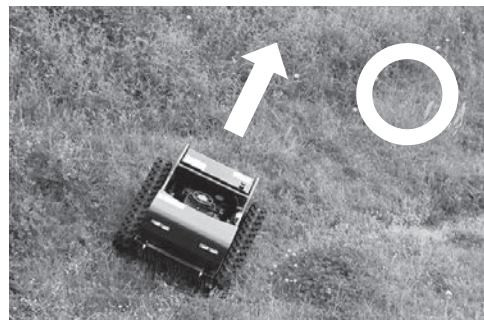
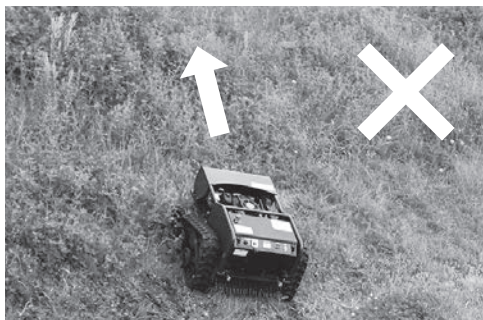
斜面での作業のしかた

斜面での走行時はエンジンの特性上、本体前方右側にあるスリットを上（山）側に向けて走行してください。



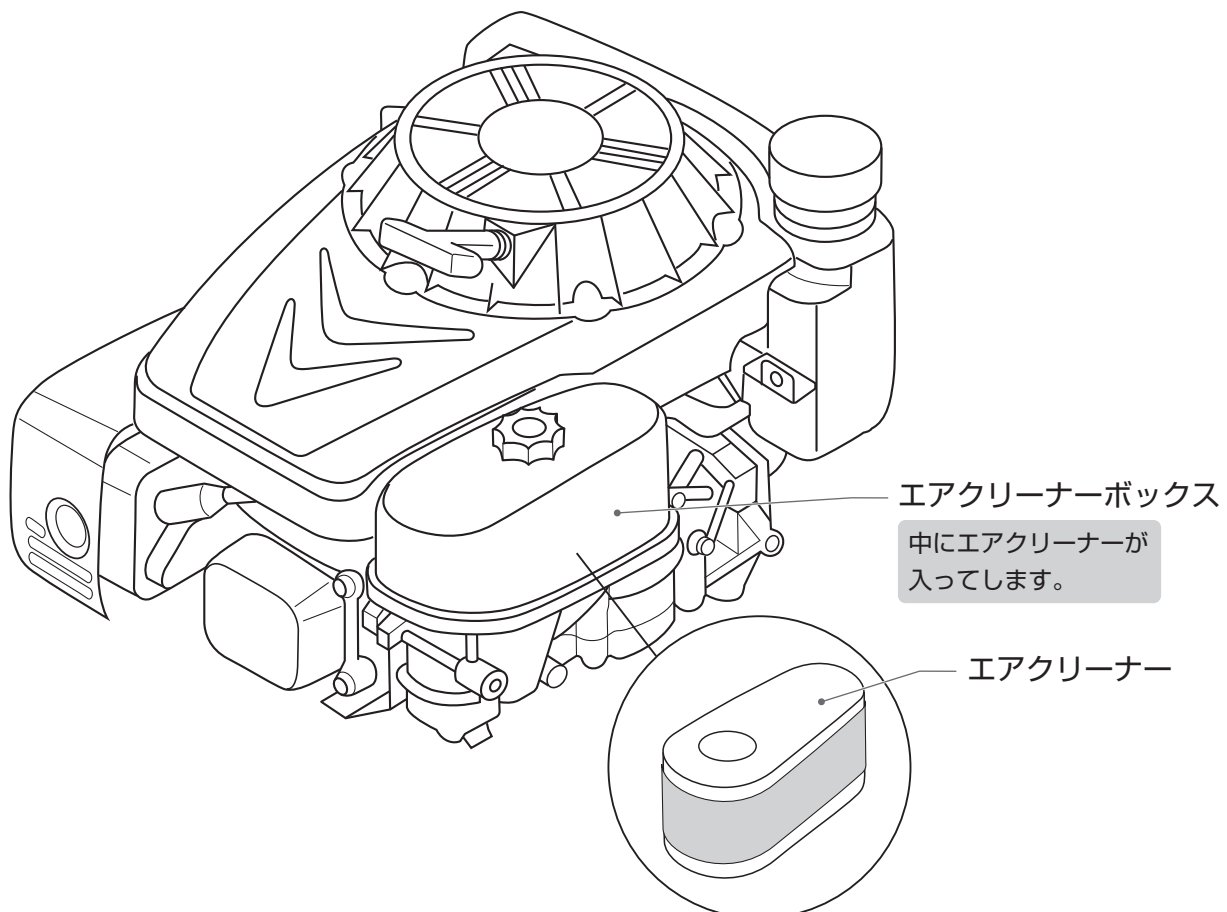
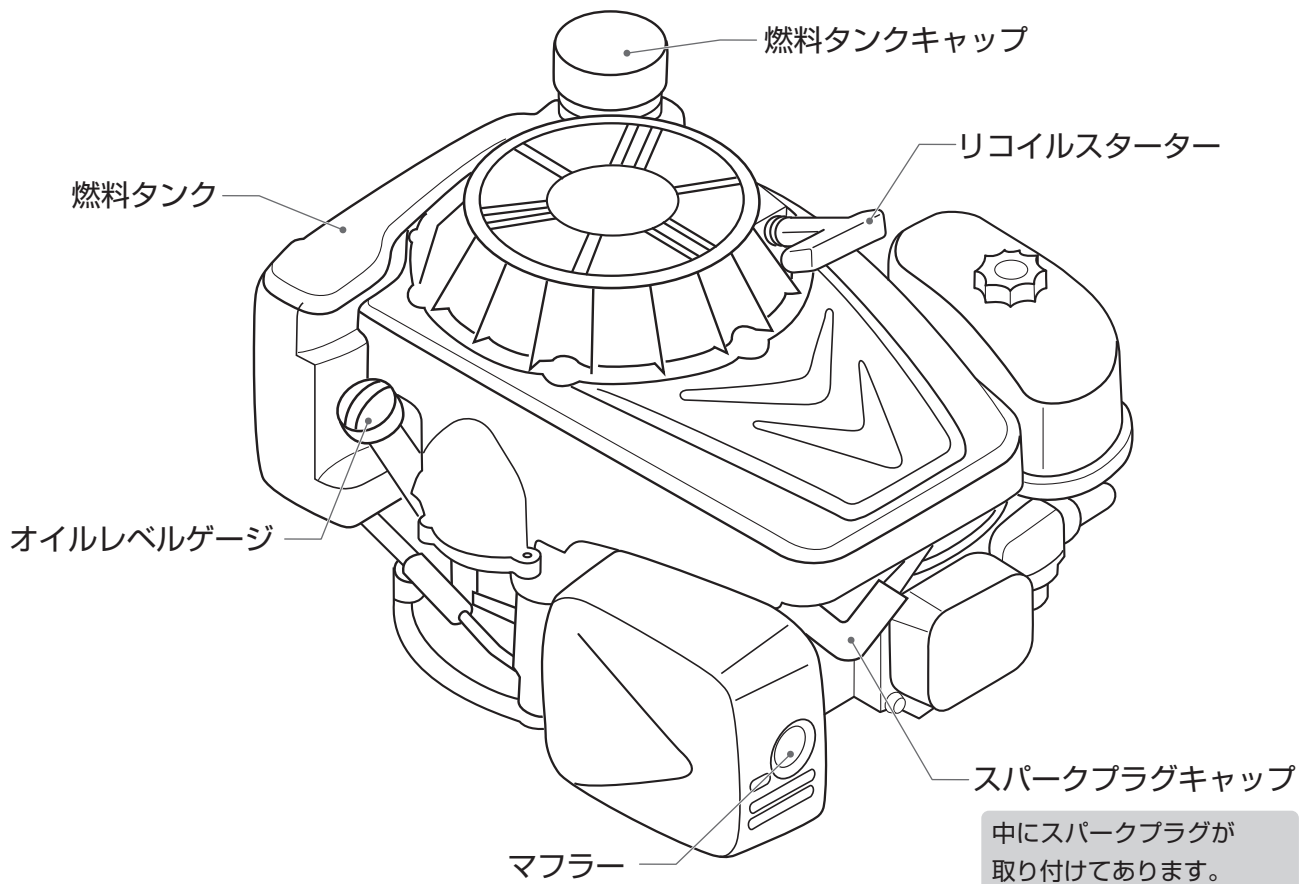
[POINT]

斜面を登る際は前側から進むと転倒するおそれがあります。後ろ側から斜めに登ると転倒しにくくなります。



エンジンのメンテナンス

部品の説明



エンジンのメンテナンス

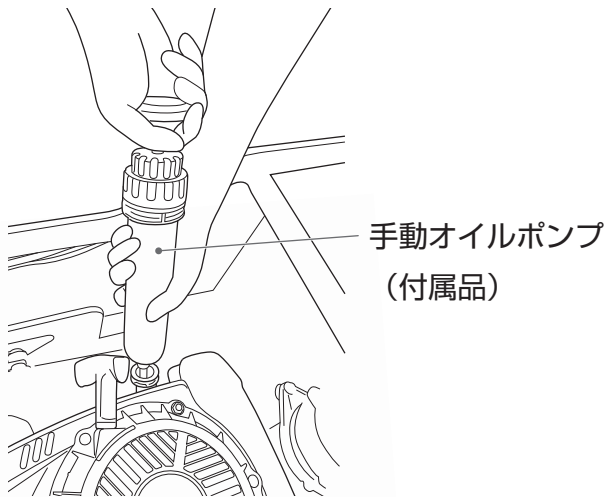
警告



必ず実施

- メンテナンスは必ずエンジンスイッチを「OFF」電源スイッチを「切」し、エンジンが冷えた状態であることを確認してから行うこと。

オイル交換のしかた



- ①エンジンを停止し、平地においてください。
- ②オイルレベルゲージを取り外し、付属の手動オイルポンプを使用し、ゲージを取り外した穴からオイルを吸い上げ抜き取ります。
- ③推奨されるオイルを補充し、オイルレベルを確認します。

推奨オイル：SAE 10W-30

オイル等級 API規格 SE級以上

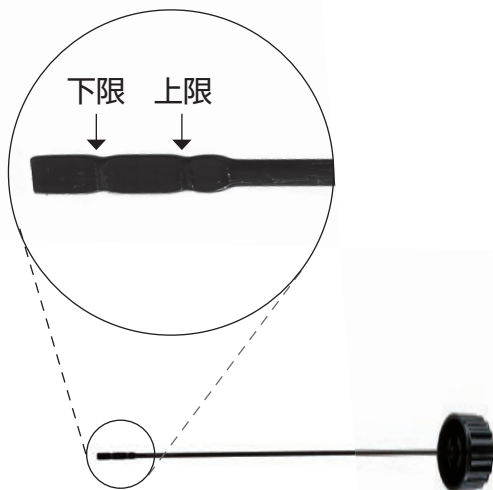
オイル容量：0.5L

■ オイルレベル確認のしかた

左図を参考にオイルレベルゲージの上限と下限の間になるよう調整してください。

※オイルが下限よりも少ない状態でエンジンを始動すると、エンジンは修理不能な損傷を受けるため、補償の対象外となります

※エンジンオイルの量が多いと煙の発生や製品異常の原因となりますので必ず上限を超えない範囲でご使用ください。

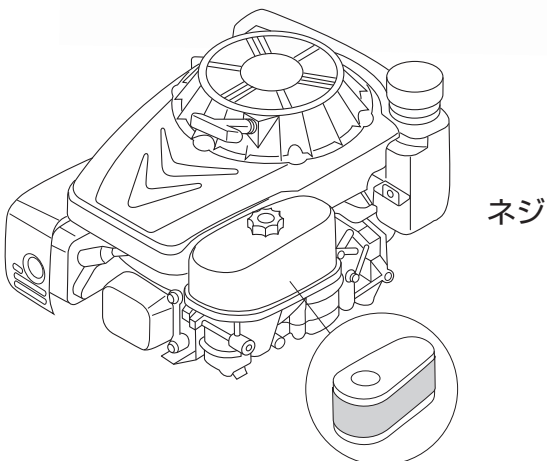


オイル交換の目安

初 回：1ヶ月または5時間

2回目以降：6ヶ月ごとまたは50時間毎

エアクリーナーの清掃のしかた

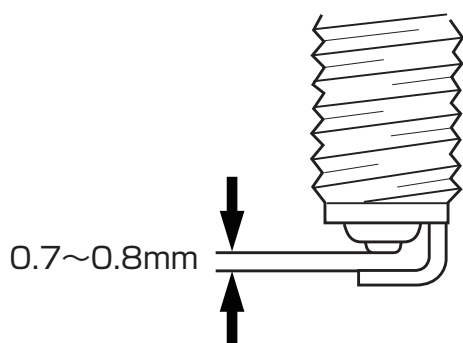
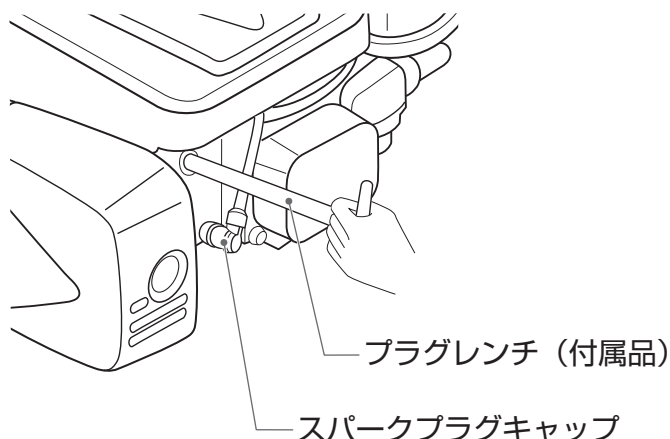


- ①エンジンを停止させ、エアクリーナーボックスの上にあるネジを回してカバーを外します。
- ②エアクリーナーを外します。
- ③エレメント（スポンジ部）を軽くはたいて、ごみやほこりを取り除いてください。

清掃の目安：3か月または25時間毎

交換の目安：1年または100時間毎

スパークプラグの交換



- ①スパークプラグキャップを引き抜き取り外します。
スパークプラグの周りの汚れを取り除きます。
- ②プラグレンチを使用してスパークプラグを取り外します。
- ③スパークプラグにひびが入っているかどうかを確認してください。ひびが入っている場合は、新しいスパークプラグと交換してください。電極の周囲がひどく汚れている場合はワイヤーブラシ等を用いて取り除いてください。
- ④スパークプラグのクリアランスは0.7~0.8mmで使用してください。(左図参照)
- ⑤スパークプラグの取り付けは、はじめに慎重に取り付けてください。スパークプラグが取り付けられたらプラグレンチで下記の値を締めて取り付けます。

- 使用済のスパークプラグを取り付ける場合
取付け後1/8~1/4回転締めてください。
- 新しいスパークプラグを取り付ける場合
取付け後1/2回転締めてください。

スパークプラグはしっかりと締める必要があります。しっかりと締めないとエンジンが破損する可能性があります。

交換の際は、エンジンの破損を防ぐため推奨スパークプラグを使用してください。

推奨スパークプラグ：TORCH製 F7RTC
NGK製 BPR7ES

スパークプラグ交換の目安：100時間毎
※50時間毎に点検してください

刈刃の交換のしかた

刈刃の交換作業は必ず2人以上で行ってください。

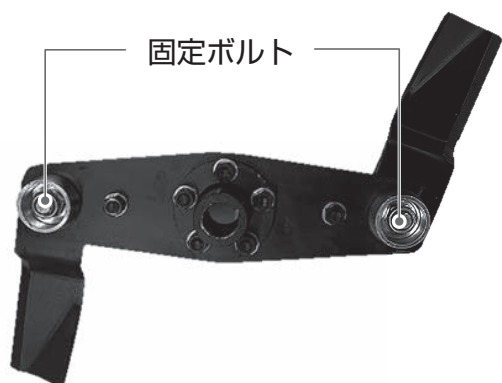
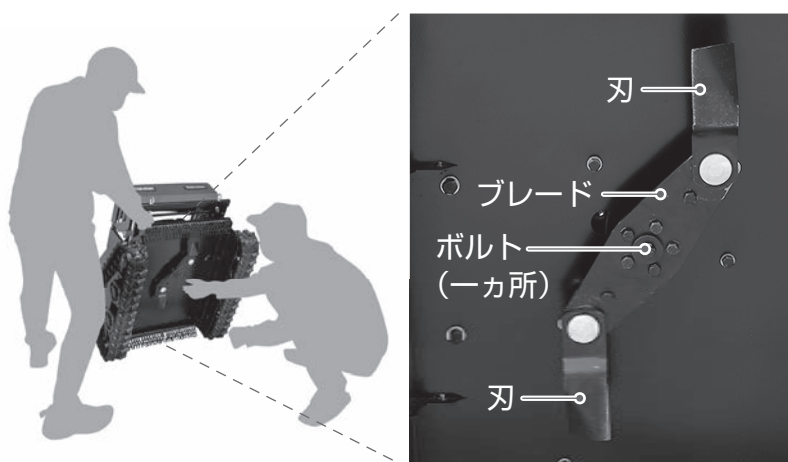
また、本体が転倒しないように平地でおこない、転倒防止の対策をしてください。

⚠ 警告

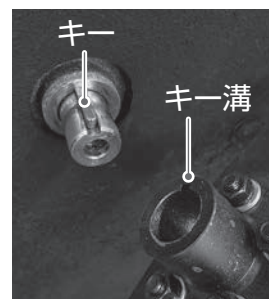


必ず実施

- 交換作業は必ず2人以上で行うこと。
- 皮手袋などの丈夫な手袋を着用して作業する。
刈刃で手を切るおそれがあります。



- ① エンジンを停止し、電源を切にします。
- ② 本体を前から持ち上げ製品を立たせます。
- ③ ブレードの中央部のボルトを外し、刈刃を本体から外します。
※ボルトを外すときはブレード部がまわらないようにまわり止め処置を行ってください。
- ④ 刃の交換だけを行う場合は刃を固定している固定ボルトを外して新品の刃と付け替えてください。刈刃セットごと交換する場合は⑤に進んでください。
- ⑤ 「③」の逆手順で本体に刈刃を取り付けます。
※ボルトナットの締め付けは確実に行ってください。



刈刃の取り付け時は取り付け側にキーがあることを確認し、キーとキー溝の位置を合わせてください。

ブレード中央部のボルト固定トルク
: 73N/m

⚠ 注意

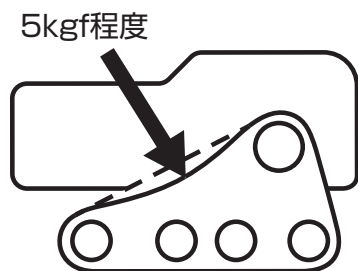


必ず実施

- ボルト・ナットは刈刃交換のたびに新しいものに交換する。
- 刈刃交換後は各ボルト・ナットをもとの通りに確実に締め付けること。

クローラの点検・調整のしかた

点検のしかた

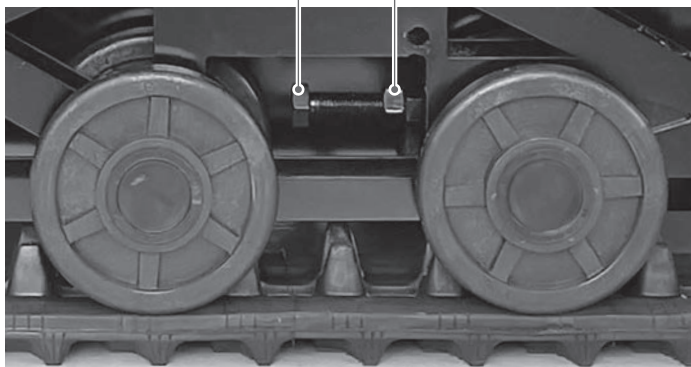


- ①クローラに摩耗・亀裂破損がないことを確認してください。
- ②たわみ量が適正か確認してください。

■クローラの上から5kgf程度の力で押し、たわみ量が15~20mmくらいの余裕があることを確認してください。

調整のしかた

ボルト ナット (ダブルナット)



<張るとき>

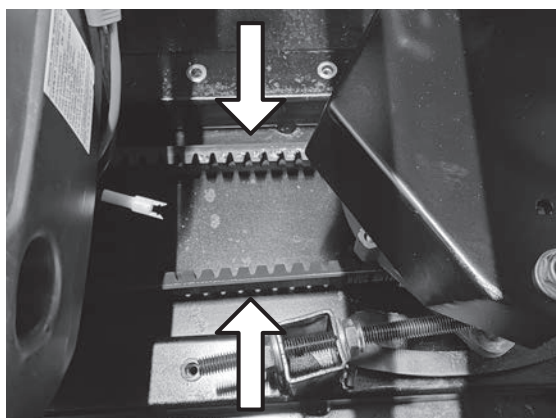
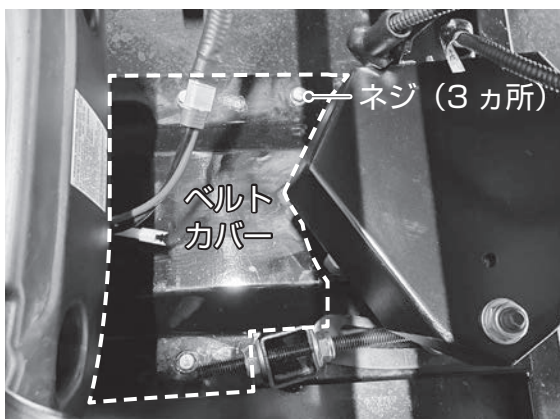
- ①ナットを緩めます。
- ②ボルトを締めて張りを調節します。
- ③ナットを締めます。

<緩めるとき>

- ①ボルトを緩めて張りを調節します。
- ②ナットを締めます。

発電機ベルト点検・調整のしかた

点検のしかた



- ①エンジンを停止し、電源を切にします。
- ②エンジンが冷えていることを確認してからベルトカバーのネジを外し、カバーを外します。
- ③摩耗、亀裂破損がないことを確認します。
- ④たわみ量が適正か確認してください。

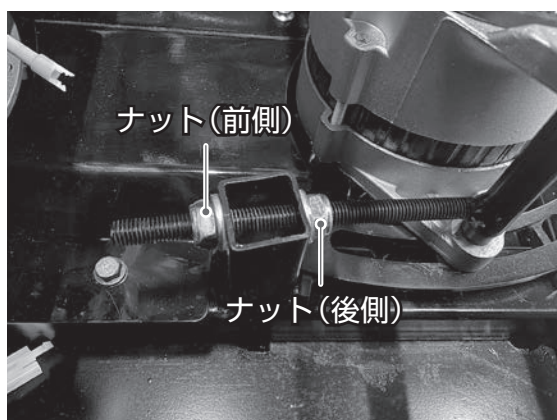
■ベルトの中央あたりを約3kgfの力でおして10～15mmのたみであることを確認してください。

[POINT]

ベルトカバーにアクセスしにくい場合は電源を入れ、刈刃を下まで下げると作業しやすくなります。

※作業時は電源を切ってください。

調整のしかた



<張るとき>

- ①前側のナットを緩めます。
- ②後側のナットを前方へ締めます。
- ③前側のナットを締めます。

<緩めるとき>

- ①後側のナットを緩めます。
- ②前側のナットを締めます。

修理を依頼される前に

「故障かな?」と思ったときは次のことをお確かめください

症状	お調べいただくこと	処置していただくこと	ページ
電源が入らない	バッテリー（本体、送信機）は十分な残量がありますか	十分な残量がない場合、バッテリーを充電または電池の交換をしてください	P.15
	メイン電源（ブレーカー）、電源スイッチは入っていますか	メイン電源（ブレーカー）、電源スイッチを入れてください	P.17
	緊急停止ボタンが押された状態になっていませんか	緊急停止ボタンを時計回りに回して引き上げてください	P.7 P.17
エンジンがかからない	燃料は入っていますか	燃料を給油してください	P.14
	エンジンスイッチはONの位置になっていますか	エンジンスイッチをONの位置にしてください	P.17
	緊急停止ボタンが押された状態になっていませんか	緊急停止ボタンを時計回りに回して引き上げてください	P.7 P.17
	スロットルレバーはチョーク位置にありますか	エンジンが冷えていることを確認し、スロットルレバーをチョークマークの位置に合わせてください	P.17
	刈刃が地面に当たっていませんか	刈高を高くしてください。背の高い草を刈るときは、高刈を最初に行うとうまく草刈りを行えます	P.18
エンジンが停止してしまう	燃料は入っていますか	燃料を給油してください	P.14
	送信機のバッテリーは十分な残量がありますか	十分な残量がない場合、電池の交換をしてください	P.15
	刈刃が地面に当たっていませんか	刈高を調整してください。背の高い草を刈るときは、高刈を最初に行うとうまく草刈りを行えます	P.18
	使用範囲外の斜面で使用していませんか	使用範囲内の斜面で使用してください	P.4 P.16
本体と送信機が連動しない	バッテリー（本体、送信機）は十分な残量がありますか	本体に十分な残量がない場合は充電し、送信機の残量がない場合は電池の交換をしてくださいそれでもなお、連動しない場合は故障の可能性が考えられますので、お買い上げの販売店までご連絡ください	P.15
エンジンの回転が不安定	スロットルレバーの位置が「チョーク」または「低」の位置にありますか	スロットルレバーを「高」の位置にしてください	P.17

定期点検一覧

点検・調節箇所	点検・交換時期	内容	ページ
エアクリーナー	作業前に点検・清掃 100 時間または 1 年ごとに 交換	<スポンジ部> スポンジを清掃 <ペーパー部> 内側からエアガンで清掃、またははたいてごみやほ こりを落とす	P.21
オイル	作業前に点検 オイル交換 初回：1 か月または 5 時間 2 回目以降：6 か月または 50 時間毎	オイル量、汚れの確認	P.21
エンジン	作業前に点検	ボルトのゆるみ、がたつきがないか	—
エンジン、マフラー	作業時に確認	異音はしないか、排気ガスの色に異常は無いか	—
エンジン、マフラー周辺(本 体内部)	作業前に点検・清掃	草やごみがたまっていれば取り除く	—
燃料タンク、燃料ホース	給油時に点検 傷んだ時は交換	燃料の漏れがないか 交換はお買い上げいただいた販売店へご依頼ください	—
スパークプラグ	50 時間毎に点検・清掃 100 時間毎に交換	電極の摩耗確認、電極の清掃	P.22
リコイル	作業前に点検・清掃 破損した時は交換	枯草、ほこりが詰まっていないか、リコイルのロープ が切れていないか	—
飛散防止くさり	作業前に点検 破損した時は交換	折れ、欠けはないか。大きな石等に接触時はその時に も確認	—
刈刃	作業前に点検・清掃 破損や摩耗、欠け時は交換	先端の刃がスムーズに動くか、刈刃に亀裂はないか 中央のブレードが変形していないか	P.23
発電機ベルト	作業前に点検 破損または調整不良な伸び があれば交換	張り具合、亀裂、損傷はないか	P.25
クローラー	作業前に点検	張り具合、亀裂、損傷はないか	P.24
スロットルレバー	作業前に点検	操作が可能か	—
昇降台(昇降モーター)	作業前に点検	スムーズにエンジン台が昇降するか確認	—
バッテリー	作業前に点検 充電電圧が著しく低下する 時は交換	液漏れ、破損の確認 表示モニターの充電量を確認	—
電気配線	作業前に点検	電気配線の被覆剥がれや傷、配線の外れはないか	—
本体スイッチ・ボタン エンジンスイッチ / エンジ ンキー / 非常停止ボタン	作業前に点検	スイッチ・ボタンは正しく動作するか エンジンキー OFF に回してエンジンが停止するか 非常停止ボタンを押してエンジン、走行が停止するか	—
送信機(プロポ)	作業前に点検	レバー・スイッチは正しく動作するか エンジン停止レバーがきくか	—

仕様

本体	型式	AP-RM520
	外形寸法 (幅×奥行き×高さ)	870 mm× 1110mm × 620 mm
	製品質量	約 175Kg
動力	走行	バッテリー (12 V× 2)
	刈部	エンジン
走行部	車速	遅・速 2段階
	走行モーター	電動モーター 24V 600W × 2 (ブラシレス)
	最大運転傾斜角	45度 (等高線) 前 30度 後 45度
草刈部	刈幅	520 mm
	刈高	20 ~ 150 mm (無段階 送信機にて調整)
	刈刃	フリーナイフ 2枚刃
エンジン	型式	LONCIN LC1P75F
	排気量	224cc
	エンジンタイプ	空冷単気筒 4サイクル 無鉛レギュラーガソリン
	タンク容量	1.4L
	エンジンオイル量	0.5L (4ストロークエンジン用 API規格SE級以上 SAE 10W-30 (推奨))
	エンジン始動	セルスタート / リコイルスタート
	スパークプラグ	TORCH製 F7RTC または NGK製 BPR7ES
	エアクリナー	乾式
送信機	使用周波数帯	2.4Ghz 帯
	速度変更	遅・速 2段階およびレバー操作
	エンジンスタート	送信機レバーによるセルスタート / ストップ
	電源	単 3 アルカリ電池 4本

消耗品について

下記の部品は消耗品です。

交換の際は下記部品コードでお買い上げの販売店に注文してください。

消耗部品	部品コード	
点火プラグ	AP-AA154Z000	
エアクリナー	AP-AA076Z000	
替刃 (2 枚)	AP-AA068Z000	
替刃取付ボルトナットセット (2 組)	AP-A0013Z000	
刈刃セット	AP-A0006Z000	
刈刃取付ボルトワッシャーセット	AP-A0014Z000	
刈刃取付キー	AP-AA082Z000	
発電機ベルト	AP-AA105Z000	
クローラー (1 本)	AP-AA074Z000	
車輪セット (1 組) 前輪・後輪用	AP-A0007Z000	

アフターサービスについて

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、お買い上げの販売店にご相談ください。
- この製品の補修用性能部品は、製造打切り後最低9年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
- 修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合、お客様のご要望により有償で修理いたします。

廃棄物の処理について

- ラジコン草刈機を廃棄するときは、お買い上げいただいた販売店、または産業廃棄物処理業者に依頼してください。法律に違反する行為は絶対にしないでください。
- バッテリーを廃棄する時は資源リサイクルのためお買い上げの販売店に渡してください。
- オイル交換での廃油処理はお住いの自治体の取り決めに従い適切に処理してください。

保証書

製品名	ラジコン草刈機	型式	AP-RM520
保証期間	本体 1 年間 (消耗部品及び業務使用時を除く)	※お買い上げ日	年 月 日
※お客様	〒 TEL ご住所 お名前 様	※販売店	住所 店名 TEL 印

本書の※印欄に記入のない場合は無効となりますので、直ちにお買い上げの販売店にお申し出になるか、またはお買い上げ年月日・販売店名を証明する領収書などを添付してください。本書にご記入いただいたお客様の個人情報は商品の修理対応のために使用し、それ以外に使用したり第三者に提供することは一切ございません。

本書は、本書記載内容で無料修理させていただくことをお約束するものです。

- 取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内（お買い上げ日から1年間）に故障した場合には、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無料修理をさせていただきます。ただし、本製品は農業従事者向けのため、業務用として使われる場合は保証の対象外となります。
- 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
 - (イ) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後に本体の転落や送信機を落とされた場合などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災・公害および地震・雷・風水害その他の天災地変など外部に原因がある故障および損傷。
 - (ニ) 商品の仕様の限界を超えてご使用の場合の故障及び破損。
 - (ホ) 沿岸部や温泉地でのご使用が原因で発生した故障および損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合または本書に記入がなくお買い上げ年月日・販売店名などを証明する領収書などがない場合。
 - (チ) 消耗部品が損傷し、取り替えを要する場合。
 - (リ) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合。（出張に要する実費を申し付けます。）
 - (ヌ) 水ぬれによる故障。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。

★この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間などについて、詳しくはP.30「アフターサービスについて」をご覧ください。
なおご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理メモ

アフターサービスならびに品質に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店までご連絡ください。